

78 ヤマザクラ

(市原町)

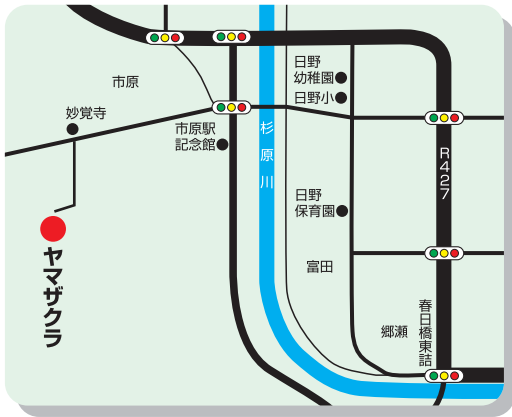
みどころいっぱい・西脇 ふるさと探訪



▲「ひこばえ」しているヤマザクラ



▲市内最大のヤマザクラ



サクラは日本を代表する花木であり、四季を通じてさまざまな姿を見せてくれます。咲き誇る花の麗しさと泰然とした風格を持つその姿が、広く市民に親しまれていることから、「さくら」は西脇市の「市の木」に定められています。

市内で最も早く花が咲くのは、郷瀬町の春日橋たもとソメイヨシノ（地蔵一本桜）です。

一方で、最も大きいサクラは市原町のヤマザクラだと言われています。この木は、遠くから眺めると1本のサクラのように見えますが、近づくると数本のサクラが「ひこばえ」しているのが分かります。

市ホームページでは、市内のサクラを紹介していますので、お花見のご参考にどうぞ…。

編集室から



市内でのドラマ撮影。多くの市民がエキストラや炊き出しで協力するなど市をあげての応援となりました。俳優さんの演技、撮影資機材、撮影風景などを見ることは少なく、皆さんも貴重な体験をされたのでは…。

ある撮影スタッフは「これほど市民の皆さんが協力してくださるのは珍しい」と。特に寒い中での撮影が続いたので、冷えた体を温める心のこもった料理を心から喜ばれていました。また、弁当の包み紙にはスタッフの皆さんへのメッセージも添えられてあるなど、西脇市民の真心が伝わったに違いありません。

里見浩太郎さんは「まちの協力なくしては撮影できない」と話されました。市民の皆さんが俳優さんやスタッフの皆さんと共に作り上げた今回の作品が放映されれば、市のPR効果は絶大。放映日が決まれば広報にしわきなどを通じてお伝えしますのでお楽しみに。きっとお知り合い顔がたくさん映っていますよ。【H】



今月の一枚

里見浩太郎さん演じる美波丈太郎の営業用車両。この車に乗って全国各地のイベントに出演するとのこと。撮影の合間に市役所に寄っていただきました。

発行／西脇市
編集／総務部秘書広報課

〒677-8511 西脇市郷瀬町605
TEL.0795(22)3111 FAX.0795(22)1014
西脇市HP / <http://www.city.nishiwaki.hyogo.jp>

西脇の自然

ニホンアカガエル (あかがえる科)



西脇市動植物生態調査 研究グループ

カエルといえば、多くの人はアマガエルやトノサマガエルを思い出されるでしょうが、アカガエルと名のつくカエルが、カエルの中のカエルと考えられています。「アカ」と名のつくカエルは体が赤茶色をしていますので、ほかのカエルとは一目で分かります。

西脇地方にすんでいるのは三種類で、里地近くにはニホンアカガエル、少し山に入るとヤマアカガエルとタゴガエルがいますが、ニホンアカガエル以外はめったに見ることができません。

小さな昆虫などを餌にして、冬でも冬眠しないものもいるようです。産卵は1〜3月です。

西脇多可休日急患センター

◆ところ 西脇市下戸田652-1 西脇病院救急外来室

◆診察日 日曜日
(年末年始を除く)
午前9時～午後5時

◆問合せ ☎23-5380

※病状やけがの様子など、電話であらかじめご連絡ください。
必ず健康保険証を持参ください。

4月の出務予定医師

4月 1日(日)	近藤 行男 先生
4月 8日(日)	河原 淳 先生
4月15日(日)	三木 信彦 先生
4月22日(日)	富原 均 先生
4月29日(日)	上田 久美 先生